

## 環境教育関係事業について (平成 23 年度実施結果及び今後の予定)

### 環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた 4 つの取り組みの柱

人材の育成	情報の共有・活用
プログラムの作成	機会づくり・場づくり

### (1) 人材の育成

札幌市教育センターにおける研修 ( 報告済 )

札幌市教育センターでは、札幌市の学校教育に携わる教職員の資質向上と専門的な力量を高めることを目的とした研修を実施しており、その研修の中で「教育課題研修コース(環境教育 ~ )」や「初任者研修(環境教育の基礎)」といった、環境教育に関する専門的研修コースを設け、学校における環境教育の実践を推進するための教員研修を実施しています。

平成 23 年度は、以下の研修において、「環境教育の実践事例集」が活用されました。

- ・ 初任者研修
- ・ 10 年経験者研修
- ・ 専門研修

環境教育リーダー・環境保全アドバイザー派遣 ( 一部報告済 )

「総合的な学習の時間」や市民の環境に関する学習会などへの助言や解説等を行う人材を派遣する「環境教育リーダー制度」と、「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「アイヌ文化と環境」、「外国の環境保全」、「環境教育」の 8 つの分野の専門家を、市民の観察会や学習会等に派遣する「環境保全アドバイザー制度」を実施しています。

【派遣実績(件数) ( )内は参加人数】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
環境教育リーダー <登録者数 32 人>	19 件 (1220 人)	44 件 (2311 人)	55 件 (2415 人)	74 件 (3717 人)
環境保全アドバイザー <登録者数 20 人>	39 件 (2780 人)	26 件 (2024 人)	37 件 (2087 人)	33 件 (2498 人)

平成 24 年 3 月 28 日時点

札幌市環境プラザにおけるリーダー育成 ( 一部報告済 )

### (1) 市民講座の開催

子ども活動団体などの指導者の方を対象にした「イベント企画者のための体験講座」などリーダー育成のための各種講座等を実施しました。

## (2) こどもエコクラブ

昨年度から、環境プラザが「こどもエコクラブ」を設立して活動を行なっています。子どもたちが、さまざまな場において環境リーダーとなって活躍することを目指しています。

平成 23 年度は全 20 回の活動で、子どもたちの環境学習をサポートしました。また、10 回以上活動に参加することができた子どもたちに「ジュニアエコリーダー」の認定証を交付しました。

### 環境に関する学習活動・研究実践校（モデル5校）（一部報告済）

環境をテーマにした先進的な取組（例：評価に位置づけた環境をテーマにした学習活動、地域の環境を活用した学校独自の特色を生かした学習活動、児童会・生徒会・地域の保護者を活用した学習活動等）を各モデル校が実践研究を行い、その成果を各学校に普及啓発していきます。

### エネルギーに関する環境教育の推進（一部報告済）

学校においてエネルギーや CO2 について体感し、学び考えることができる設備整備（見える化）を行いました（平成 23 年度：札幌市立百合が原小学校）。この設備を活用し、子どもたちのエネルギーに関する意識を醸成し、自発的に行動できる人材を育成することを目的としています。さらに、今後、学校を拠点として、子どもたちから家庭へ、また、学校との連携により地域へ、省エネ意識・省エネ行動等、環境配慮行動の波及につなげることを目指しています。

### 今後の予定

教育委員会と連携して、教育センターにおける教員に対する環境教育に関する研修を実施していくとともに、環境プラザにおける教員を対象とした研修を引き続き行います。

また、環境プラザの「こどもエコクラブ」の活動は 24 年度も継続し、さらに市民を対象とした様々な講座を行うことで、人材の育成を行います。

エネルギーに関する環境教育の推進については、24 年度に新たに 1 校の設備整備を行います。今後は、整備校における「見える化」設備の活用を踏まえ、実践的エネルギー学習を他校へ拡大していきます。

## (2) 情報の共有・活用

### 環境プラザホームページ（一部報告済）

ブログで積極的に情報を提供するなど、環境プラザホームページを利用して情報提供を行っています。平成 23 年度は、こども用ホームページ「キッズページ」のリニューアルを行いました。今後もホームページの特性を生かして、最新情報の掲載、ブログの積極的な更新を行います。

### かんきょう元気新聞・元気通信（一部報告済）

子どもたちにとって環境に関する身近な情報を分かりやすく掲載することで「気づき」と「行動」を促すため「かんきょう元気新聞」を発行しています。

平成 23 年度は、7 月に第 8 号（夏号）を「節電」をテーマとして、12 月に第 9 号（冬号）を「雪と環境、冬にできる省エネ」をテーマとして、年 2 回発行しました。

また、配布対象を、これまでの小学 4 年生～6 年生から、小学校の全学年と中学生に拡大し、理解度に応じた紙面を作成しました。

今年度は、札幌市の取組を、より身近なものとして受けとめ周囲への環境活動の輪が広がることを期待し、この「かんきょう元気新聞」に、「かんきょう元気通信」として市長メッセージを掲載しました。

#### 環境教育関連施設連携事業の実施（一部報告済）

市内の環境関連施設の施設担当者から成るプロジェクト会議において、環境プラザを中心として施設間の連携を進め、情報を共有・活用していくとともに、より効果的な環境教育を行うための事業について検討しています。

平成 23 年 3 月末作成した「みんなでおでかけポケットブック」については、その効果等を各施設で検証した結果を踏まえ、一部リニューアルして増刷しました。

また、平成 23 年度は以下の連携事業を行いました。

- (1) 森の中で大発見！親子バスツアー（環境プラザ - 北方自然教育園 定山溪自然の村）
- (2) 秋のエコ教室：親子でまるごと鮭体験（札幌市環境プラザ 札幌市豊平川サケ科学館）

#### 今後の予定

子どもたちの環境への意識をさらに高めることができるよう「かんきょう元気新聞」の内容の充実を図るとともに、リニューアルした環境プラザのキッズページやブログを活用し、効果的な情報提供を行います。

### (3) プログラムの作成

#### 総合的環境副教材・教師用手引書（一部報告済）

小学生を対象に配布している「札幌市総合的環境副教材」について、平成 24 年度配布版として改訂を行い各学校に配布しました。

この「札幌市総合的環境副教材」は「教育課程編成の手引き」（札幌市教育委員会作成）に参考とする資料として引用されており、授業におけるより一層の効果的な活用を目指して、今年度は、「札幌市総合的環境副教材」の改訂とともに、教師用手引書の内容の見直しや充実を図ることに重点を置きました。

#### 環境プラザにおける学習プログラム（報告済）

環境プラザの環境教育教材を活用した学習プログラムの作成について検討を進めています。環境プラザが実施する事業に加え、中学校の授業における活用方法について検討しています。

#### 今後の予定

総合的環境副教材について、平成 25 年度配布版を作成します。

また、教材を活用した学習プログラムを環境プラザの事業で実施するほか、環境プラザにおいて、

学校の総合学習に応じたオリジナルプログラムの充実を図ります。

### 札幌らしい特色ある学校教育のパンフレット

札幌市の目指す「自立した札幌人の育成につながる「札幌らしい特色ある学校教育」を各幼稚園・学校の教育課程に適切に位置づけるため、3つのテーマ「雪」「環境」「読書」の学習活動について、具体的な事例を通して、幼児児童生徒に「育てたい力」を示したパンフレットを作成しました。

## (4) 機会づくり・場づくり

### さっぽろっこ環境ウィーク・環境フェスティバル( 報告済)

市立幼稚園・学校において、環境に関する活動の一層の充実を図ることを目的として、全ての市立幼稚園・学校において環境に関する取り組みを「エコアクション」として一定期間、重点的に行う「さっぽろっこ環境ウィーク」を実施しました(6月20日~7月1日)。

各幼稚園・学校でのエコアクションの取組については、教育委員会のホームページに掲載しております。また、市立幼稚園・学校に環境局みどりの推進課から苗木を配付し、各幼稚園・学校において記念植樹として校地内に植樹しました。

さらに、6月26日には「さっぽろっこ環境フェスティバル」を開催し、環境活動の発表会などを行いました。

以上二つの取組を通して、札幌らしい特色のある学校教育のテーマ「未来の札幌を見つめる【環境】」で目指す環境を守り育てようとする日常活動に取り組んでいく機会づくりを行いました。

### 校外学習用バス貸出( 一部報告済)

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、市内小中学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。

今年度は、のべ70校に153台のバス貸出を実施しました。

校数はこのべ数/( )内は実施校      バス利用台数はこのべ数/( )内はCNGバス

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
応募校数	71校	77校	71校	107校	129校
利用校数	43校(42校)	54校(52校)	69校(66校)	88校(77校)	70校(67校)
バス利用台数	94台	115台(23台)	152台(19台)	184台	153台

- ・校外学習の見学先や学習内容、エコライフレポートへの取組率などを考慮し、環境局・教育委員会で採用校を決定
- ・平成19年度事業開始。平成21年度から対象を中学校も対象。

主な見学先(H23年度実績)

分野	見学先	見学校数(のべ)
ごみ減量・リサイクル	清掃工場(白石、駒岡、発寒)	27
	札幌リサイクル団地・資源選別センター	12
	リサイクルプラザ、リユースプラザ	2
	モエレ沼公園	9
水とみどり	水道記念館・藻岩浄水場	43
	下水道科学館・水再生プラザ(創成川・手稲)	16
	ダム(豊平峡、定山溪)	23
(その他)	北方自然教育園	2
	円山動物園、サケ科学館	9
	ピリカコタン	4
	環境プラザ、青少年科学館	6

環境教育へのクリック募金( 報告済)

インターネットを活用した環境教育への支援制度として、環境プラザのホームページに「環境教育へのクリック募金」サイトを平成17年5月から設けています。

この制度は、環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金とする企業の社会貢献活動の仕組みです。

平成23年度は、26の小中学校に、小型光電池や手回し発電機などの環境教育教材を寄贈しました。(現在の協力企業は8社)

環境プラザにおける総合学習支援等 (一部報告済)

環境教育リーダーの派遣や環境プラザの展示物を活用し、小中学校の総合学習の時間における学習の支援を行いました。

また、出前講座「環境プラザがやってきた」では、さまざまな環境イベントにおいて、体験学習を行いました。(さっぽろっこ環境フェスティバル、水道展2011、環境広場さっぽろなど)

さらに、環境に関する講演会や市民活動団体と連携した事業を各種実施しました。

かんきょうみらいカップ2011 (一部報告済)

フットサルなどのスポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうことを目的として「かんきょうみらいカップ2011」を開催しました。

(7月27日(水)札幌サッカーアミューズメントパーク)

フットサルや環境クイズ、ECOリレーのほか、参加した子ども達が、環境について体験したこと、今取り組んでいることを「環境体験・活動カード」に記載することにより、環境への意識を高め、自主的な行動へとつなぐ機会としています。

また、当日高得点を獲得した上位8チームは、12月3日の「コンサドーレ札幌 対 FC東京」(札幌ドーム)のカーテンレザーマッチに出場しました。

## さっぽろこども環境コンテスト

小中学生の環境活動を発表する「さっぽろこども環境コンテスト2011」を平成23年11月26日(土)に開催しました。

### [審査員]

審査員長	北海道大学大学院教育学研究院 教授	大野 栄三 氏
審査員	北海道札幌新川高等学校 校長	大川 徹 氏
審査員	丸山環境教育事務所 代表	丸山 博子 氏
審査員	札幌市環境局環境都市推進部長	宮佐 直紀

### [発表団体]

小学生の部	中学生の部
札幌市立南郷小学校	札幌市立定山溪中学校
札幌市立手稲鉄北小学校 手稲エコキッズ	札幌市立宮の森中学校
札幌市立北野平小学校 きたのエコレンジャー	藤女子中学・高等学校
札幌市立平岡南小学校	札幌市立星置中学校
札幌市立百合が原小学校	札幌市立真駒内曙中学校

：最優秀賞受賞団体

：優秀賞受賞団体

：クリック募金特別賞受賞団体

### 今後の予定

既存事業を見直しながら、次世代を担う子どもたちの環境活動の実践に向け、より効果的な機会づくり・場づくりを図るなど、環境教育の取組をより一層充実させていきます。